

ステップ教室だより



日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
令 和 6 年 1 2 月 4 日
特別支援教室【ステップ教室】

12月になり、寒い日が続く季節になりました。2学期も残り少しとなりましたが、病気や怪我に気を付けて、楽しい冬休みを迎えられるとよいですね！

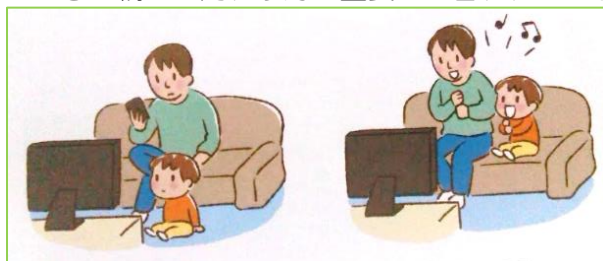
今月のステップだよりでは、家庭での親子の過ごし方・関わり方について①テレビやスマートフォンなどのメディアとの付き合い方②しつけの仕方をご紹介します。

1. テレビやスマートフォンなどのメディアとの付き合い方について

メディアの発達によって、子供達の視力の低下や生活習慣の乱れ、対人スキルなどの発達にネガティブな影響を与えるという報告は少なくありません。一方で、生活習慣の乱れや対人スキルの発達に関して、必ずしもメディアが悪い影響を与えるわけではありません。メディアと親子が関わるうえで大切なことは「視聴時間とその他の時間のバランス」や「どのように、どのような内容を見るか」です。

「視聴時間とその他の時間のバランス」では、〇〇分以上テレビやスマートフォン、ゲームを使用していたから成長に悪影響が出るというわけではなく、親子のコミュニケーションをとる時間が減ってしまうことが成長へ悪影響を及ぼすと言われています。子供とコミュニケーションをとる時間の確保をねらいとして、一緒に体を動かしたり、工作をしたりするとよいかもしれませんね。

「どのように、どのような内容を見るか」では、暴力的な番組の視聴が後の攻撃的な言動に関連しているという報告がある一方で、優良なコンテンツは適切な言動を促すという報告があります。また、テレビを見ているときの親子の関わり方も重要だと言われています。



どちらも「テレビ視聴」に変わりはないけれど、
同じ視聴時間でも「見せ方・関わり方」が大切！！

2. しつけの仕方について

しつけの目的は何でしょうか？それは子供が生きていくうえで、自分で判断して行動する力を身につけることです。そのため、しつけをするときの親の言動はとても大切なのです。しつけには「力によるしつけ」「愛情の除去によるしつけ」「説明的・誘導的なしつけ」の3つがあり、その中では「説明的・誘導的なしつけ」が思いやりや判断力を育てる上で最も重要だと言われています。また、親自身が子供に望む言動をすること（モデリングを示す）も大切だと言われています。



力によるしつけ



愛情の除去によるしつけ



説明的・誘導的なしつけ

*渡辺弥生 監修『よくわかる発達心理学』ナツメ社 より一部抜粋

学期末面談が始まっています。保護者の方におかれましては、お忙しい中日程を調整して下さい、ありがとうございます。なお、2学期のステップでの指導は12月16日（月）までとなり、3学期の指導の始まりが1月10日（金）となります。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。